



うぐいすぐみだより(冬)

チャリティー第一保育園
令和8年3月発行

うぐいす組4期(12・1・2・3月)の目標

- ・友だちと楽しく活動する中で、共通の目的を見出し、工夫したり協力したりする
- ・保育教諭や友だちの言葉や話に興味や関心を持つ
- ・人の言葉や話などを聞き、自分で思ったことを伝えようとする
- ・よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する

○細長い氷を発見○

園庭で遊んでいると遊具にもこもこした氷を発見！なんでこんな形なんだろうと触っていたうぐいすさんたち。氷がつながっているところを追って見ると遊具の上に雪の塊を発見。「あっ！分かった！雪が溶けたからこんな風になったんだ」と気付きがありました。



何個も線の氷があるのなんだろう？

『これってなんだろう？』

つららとは違う形の氷を発見。なんでこんな形なんだろうと考え、お友だちとどうしてだろう？を共有しました。お友だちの意見を聞いたり、自分の感じたことを伝えたり…
発見やお友だちとの答え合わせを楽しんでいました。

○お店屋さん作り○

こまどり組が廃材で冷蔵庫を作っているのを見ていたうぐいすさん。冷蔵庫に入れられるものはなんだろう？と、皆でアイデアを出し合い、さらに、自分たちで作れるものは何かと考えた結果、野菜・果物・アイス・お菓子・ジュース・パンを作ることになりました。うぐいすさんだけでは話し合うことはまだまだ難しく、こまどり組と担任のお手伝いを受けて進めることができました。



『どうやって作る？』
なかなかアイデアが
うかばない…。
自分の意見を伝えたり、
相手の意見を参考に
しながら試行錯誤し
作っていました。



『氷遊びがおままごと遊びに展開』

自分たちで作った氷がコップになりました。皆のコップを並べ、「青はブルーベリージュースだよ」「白は牛乳」など見立て遊びを楽しみました。



『色水遊び』

好きな色の絵の具を水で溶かし雪の上に垂らし遊びました。遊んでいくうちに友だちと色を混ぜて紫色を作ったり、見た事のない色に変化したり…。色混ぜ遊びを楽しんでいました。

『色水から氷作りへ』

氷作りに発展。雪の中に埋めたら早く氷になるかな？と牛乳パックを全部埋めていました。さて、全部埋めたら早く氷になるかな…？



不思議な形のコップ
になったよ

『氷が出来たよ』

翌日、外に置いていた牛乳パックを見に行きました。触った感じは固いけれど、でもちゃぶちゃぶ音が聞こえると2つの意見が。皆で開けてみると…
「半分は氷になっているけど、半分はまだ水のままだ」
なんで凍らなかったのかなとの保育者の問いかけに対して、「寒くなかった？」「もっとお外に置いた方が良かったかも」など、自分の意見を伝えてくれました。



『すべり台を作ったよ！』

屋根から落ちた雪がちょっとした坂になっていることを発見。屋根に雪がないことを確認し、滑る場所を自分たちで整え始めました。「こっちきれいにするからあらんはそっちやって！」「おっけ！任せて！」と自分たちの思いを伝え合い滑る場所を作りました。滑り心地は最高でした♡



『何個できたかな？』
こまどりさんが何個できたかわかるようにと数字を書いてくれた紙を床に貼ってくれました。作ったものを並べるだけで、数を確認することができました。



氷できたよ～!!

『見てみて～、氷だよ』

窓から外を眺めるすずめさん、ひばりさんに気付き、作ったものを見せる姿がありました。
ニコニコしながらこっちを眺める未満児さんたちを見て、自然とこっち笑顔になっていました。

『雪を運ぶよ』

そりは、自分たちが乗って遊ぶ他にも、別の使い方があることを知っています。手で運んでも中々集まらない時は、そりを使って、たくさん雪を運びました。



1年間を振り返って…

4歳児の発達には「けんかをする」という姿がみられる年頃と言われています。うぐいす組は、自分の思いを言葉で伝える難しさ、相手の思いを感じ取る難しさの中でケンカに発展することも多々ありましたが、様々なことを体験していく中で、最後まで諦めずに挑戦しようとする姿や、相手を思いやる姿など成長を感じた1年でもありました。こまどり組での今後の成長もとても楽しみにしています。保護者の皆様も1年間ありがとうございました。

輝子先生から♡

この1年子どもたちと過ごした時間がとても濃く楽しい時間でした。今後どんな姿を見せてくれるのか楽しみにしています。